

1. 南魚沼市保育園適正配置方針の策定

(方針の要旨)

人口減少及び急速な少子化の進展により、施設規模と入園児数との間に不均衡が生じ、保育園施設の効率的な運営が困難になっています。こうした背景を踏まえ、保育園施設の現状と課題を整理し、地域バランスと人口動態を考慮した中で、効率的な運営による「集団での保育」と「高い充足率」を確保するため、施設の適正配置を進めるものです。

2. 令和7年度の具体的な取り組み

(1) 五十沢地区

五十沢地区の公立保育園は、同一小学校区に宮保育園と西五十沢保育園の2園が設置されていますが、令和8年3月末をもって西五十沢保育園を閉園し、令和8年4月1日に宮保育園と統合する方針とし、次のとおり統廃合を実施します。

- ・令和7年6月 五十沢地域づくり協議会長に、市の統合案を説明するとともに、園児の保護者向けに説明会を開催する旨、説明しました。
- ・ 〃 園児の保護者向けに、1回目の説明会を開催し、市の統合案を説明するとともに、意向確認のため、アンケートを実施しました。
⇒ 統合の方針について、概ねの理解を得ました。
- ・令和7年8月 園児の保護者向けに、2回目の説明会を開催し、アンケートの結果等を踏まえ、市の統合案のとおり統合を実施する旨、説明しました。
- ・令和7年9月 地域づくり協議会長及び五十沢地区の行政区長へ、統合の方針について、文書送付にて説明しました。
- ・令和7年12月 統合保育園の名称の公募
- ・令和8年3月 西五十沢保育園の閉園
- ・令和8年4月 統合保育園での保育の開始

(2) 東地区

当該地区の公立保育園は、三用保育園と赤石保育園の2園が設置されていますが、令和9年3月末をもって赤石保育園を閉園し、令和9年4月1日に三用保育園と統合する方針とし、次のとおり取組みを開始しました。

なお、当該地区は、現在、小学校においても統廃合が検討されています。保育園は、小学校と比較した場合、5年前倒しで少子化等による影響を受けることから、小学校の統合よりも先に統廃合の必要性が生じますが、小学校の統廃合の方向性についても注視する必要があります。

- ・令和7年10月 園児の保護者向けに、1回目の説明会を開催し、市の統合案を説明するとともに、意向確認のため、アンケートを実施しました。
- ・令和8年1月 「東地区小学校の統合に関する意向調査」も実施されており、これらアンケートや調査を参考にし、様々な意向を汲み取り検討した結果、提案しておりました「令和9年4月1日に三用保育園への統合」については見送りとしました。

3. 令和8年度以降の取組（南魚沼市保育園適正配置方針より）

(1) 城内地区

当該地区の公立保育園は、上原保育園とあおば保育園の2園が設置されていますが、築年数等の施設の状況や小学校の立地から、あおば保育園を閉園し、上原保育園と統合することを想定し、検討を進めます。

(2) 大巻地区

当該地区の公立保育園は、五日町保育園と四十日保育園の2園が設置されていますが、築年数等の施設の状況から、四十日保育園を閉園し、五日町保育園と統合することを想定し、検討を進めます。

上町小規模保育園の閉園に至る経緯、今後の施設利活用

1. 設置経過

出生数の減少に伴う、園児数の減少により、集団生活で得られる体験や、充実した保育の提供が困難になってくる状況もあることから、適切な保育規模とする必要があります。

また、乳幼児の途中入園の希望に対応するためにも、基本0～2歳児を対象としている小規模保育園事業が必要であることから、公立の小規模保育事業を実施するために令和6年12月に南魚沼市小規模保育事業の実施に関する条例を制定しました。

2. 閉園に至る経緯

未満児の途中入園に対応するため、令和7年4月1日から上町小規模保育園を設置し、4月以降の状況を注視しておりましたが、六日町地区保育施設の未満児の利用定員からみると、途中入園の対応は十分可能な状況となっております。また、今年度の市内全体における途中入園においても、第1希望園に入園できていることから、上町小規模保育園に対する未満児入園の照会実績は現在ありませんでした。

このような状況から、市としては、令和8年3月31日に閉園することとし、指定管理者にもご理解をいただいたところです。また、在園児保護者には、令和7年8月19日、8月21日に説明を行い、閉園に対しご理解をいただきました。

なお、令和8年度に継続して保育園を利用する際には、優先的に入園調整を行いました。

(令和7年8月31日現在)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
在園児数	1	0	2	1	0	6	10

3. 今後の施設の利活用

子育て支援センターでは、早期療育支援が必要と思われる児童に対して、遊びを通して療育支援を行う「遊びの教室」を「子育ての駅ほのぼの」で実施しています。発達支援の必要な園児・保護者の困り感の軽減や就学先への継続した支援により、スムーズな就学へ繋げることを目的としています。

今後は、より良い支援環境の拡充が必要と考え、上町小規模保育園の活用を検討しています。